

# 天候不順対策(防除)について

令和4年5月10日  
JA全農ちば 営農支援部

気象庁の発表では今後2週間、梅雨の走りの様な曇雨天が多い予報が出ております(5月9日時点)。また、1か月予報とは異なり、気温も上昇しない予報となっておりますので、各作物で生育の遅れや病害の発生が懸念されます。栽培管理や緊急的な防除を実施しましょう。

## 1. 天候不順時の防除について

### (1) 農薬と降雨・曇天の影響

- ア. 乾く前に降雨で流されると十分に作物へ付着せず、効果低下が考えられます。
- イ. 曇天で乾きが悪い状態が続くと、薬害発生のリスクが高くなります。

### (2) 天候不順時の防除対策について

#### ア. 降雨時の散布は避けましょう

薬剤が流されることを防ぐため降雨時の散布は避けましょう。散布のタイミングを逃す状況が続いてしまった場合、治療効果を持つ薬剤を優先して選択しましょう。

#### イ. 薬剤が乾くまでの時間を確保しましょう

薬剤や散布量により異なりますが、曇天時では1時間程度では乾かない場合が多いです。また、夕方以降になると気温が下がりより乾きにくくなるので、散布後に可能な限り乾く時間を確保できるようにしましょう。

#### ウ. 作物の生育状況も確認しましょう

天候不順により生育が停滞し作物が軟弱となっている場合は、薬害のリスクも上がっているため注意が必要です。各薬剤の注意事項を再確認し、また希釈倍数の薄い方を選ぶ・散布水量を調整するなどの配慮も行いましょう。

## 2. 水稲

### (1) 移植後の保温対策について

育苗期間中の気象の極端化により地域によっては苗の生育が進み過ぎた事や、雨天続きにより移植が遅れ、老化気味となり、天候不順と相まった移植後の黄化が例年より目立ちます。

低温や強風が予想される日は、深水管理により保温に努めましょう。

老化気味の苗を移植せざるを得ない場合は、移植同時での除草剤処理をなるべく控え、活着後の散布を実施し、薬害を抑えましょう。

## 3. 園芸

### (1) 施設栽培について

施設内の空気循環や換気を行い、多湿にならないようにしましょう。また、草勢が弱い場合には、摘果や茎葉の整理を行い草勢の回復に努めましょう。べと病や疫病は比較的低温を好み、多湿により発生が助長されます。

緊急営農情報

○トマト 疫：疫病・葉：葉かび病・す：すすかび病・う：うどんこ病

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
疫	40	レーバスフロアブル	1500～2000 倍	収穫前日	3 回以内	予防・治療
	4+M3	リドミルゴールド MZ	1000 倍	収穫前日	2 回以内	予防・治療
葉	11	アミスター20 フロアブル	2000 倍	収穫前日	4 回以内	予防・治療
	1+10	ゲッター水和剤	1000～1500 倍	収穫前日	5 回以内	予防・治療
う	9+U13	ショウチノスケフロアブル	2000 倍	収穫前日	2 回以内	予防・治療
葉・疫	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000 倍	収穫前日	3 回以内	予防・治療
葉・す	3	トリフミン水和剤※	3000 倍	収穫前日	5 回以内	予防・治療
う	3+U6	パンチョ TF 顆粒水和剤※	2000 倍	収穫前日	2 回以内	予防・治療
葉・す・う	7+11	シグナム WDG	2000 倍	収穫前日	2 回以内	予防・治療

※パンチョ TF はトリフミンを含むので総使用回数に注意

○キュウリ べと病・うどんこ病

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
べと・	11	アミスター20 フロアブル	1500～2000 倍	収穫前日	4 回以内	予防・治療
うどんこ	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000～1500 倍	収穫前日	3 回以内	予防・治療
うどんこ	9+U13	ショウチノスケフロアブル	2000 倍	収穫前日	2 回以内	予防・治療
べと	4+M3	リドミルゴールド MZ	1000 倍	収穫前日	3 回以内	予防・治療

○スイカ 炭：炭疽病・褐：褐色腐敗病・う：うどんこ病

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
炭	11	アミスター20 フロアブル	2000 倍	収穫前日	4 回以内	予防・治療
	1+10	ゲッター水和剤	1500 倍	収穫 21 日前	5 回以内	予防・治療
炭・褐	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000 倍	収穫 3 日前	5 回以内	予防・治療
炭・褐 ・う	7+11	シグナム WDG	1500 倍	収穫前日	3 回以内	予防・治療
う	9+U13	ショウチノスケフロアブル	2000 倍	収穫前日	2 回以内	予防・治療

○メロン うどんこ病・べと病

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
うどんこ	9+U13	ショウチノスケフロアブル	2000 倍	収穫前日	2 回以内	予防・治療
	19	ポリオキシシン A L 水溶剤※	1000～ 2000 倍	収穫前日	5 回以内	予防・治療
		ポリオキシシン A L 水和剤	1000 倍			
うどんこ ・べと	11	アミスター20 フロアブル	2000 倍	収穫前日	4 回以内	予防・治療
べと	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000 倍	収穫 3 日前	5 回以内	予防・治療

※ポリオキシシン A L 水溶剤はつる枯病に塗布の登録あり

## 緊急営農情報

### (2) 露地栽培について

土壌水分が過湿条件になれば、生育不良や草勢が低下しやすくなります。また、育苗中の苗も多湿になると病害が発生しやすくなります。適度な灌水に努め、多湿にならないようにしましょう。

#### ○ネギ ベと病・さび病・葉枯病

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
べと病	40+27	ベトファイター顆粒水和剤	2000倍	収穫14日前	3回以内	予防・治療
	4+M3	リドミルゴールドMZ	1000倍	収穫14日前	3回以内	予防・治療
べと・葉枯	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000倍	収穫14日前	3回以内	予防・治療
べと・さび 病・葉枯	11	アミスター20フロアブル	2000倍	収穫3日前	4回以内	予防・治療
		メジャーフロアブル	2000倍	収穫前日	3回以内	予防・治療
さび病	3	オンリーワンフロアブル	1000倍	収穫14日前	3回以内	予防・治療

#### ○ホウレンソウ ベと病

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
べと病	40	フェスティバル水和剤	2000倍	収穫前日	3回以内	予防・治療
		レーバスフロアブル	2000倍	収穫3日前	2回以内	予防・治療

#### ○未成熟トウモロコシ すず紋病・紋枯病

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
すず紋病	3	トリフミン水和剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回以内	予防・治療
紋枯病	14	リゾレックス水和剤	1500倍	収穫14日前	2回以内	予防・治療
	3	モンガリット粒剤	6kg/10a 株元散布	収穫7日前	2回以内	予防・治療

### (3) 園芸作物施肥（樹勢回復）

低温や日照不足により樹勢の低下が見られた場合は、天候が回復次第、葉面散布を実施して樹勢の回復に努めましょう。

液肥例：ポリコープ2号 : 4 - 6 - 6 + 微量要素、400～600倍

キャッチアップ2号 : 15 - 30 - 15 + 微量要素、500倍

野菜の達人 : 15 - 14 - 10、1000倍

ア. 5～7日おきに2～3回程度、継続的に散布しましょう。

イ. 高濃度の散布は避け、気温の低い午前中に散布しましょう。特に高温（25度以上）、著しく樹勢が低下している場合は濃度を薄くしましょう。

（1回の高濃度散布より樹勢が回復するまで継続的に散布することが大切です）

ウ. 新葉を中心に葉の裏にかかるよう散布しましょう。